

平成29年度第3学年 学年通信	Boys and girls, be	第39号(通算127号)	
『自立と協調～そして感謝と思いやり』	Ambitious	12月	4日

「いじめ防止」の講演会が開かれました。

今日12月4日から人権週間が始まります(10日まで)。1948年12月10日の国際連合の総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、法務省が10日をゴールとしてその前一週間(なので4日がスタート)を「人権週間」とする、と定めたのがその始まりです。この一週間の間だけでもみんなで人権について考えましょう(=人権について強く意識し、考えるきっかけをつくる)そんな意図です。特別、人権週間にちなんだわけではありませんが、12月1日(金)の6限目、道徳の時間に講演会を開催しました。対象は全校生徒で、タイトルは「いじめ防止授業」。講師として現役の弁護士さんをお招きしました。もう少し法律的な話が多いのかと思っていましたが、そうでもなく、道徳的な話がほとんどでした。そんな中で、過去、実際にあった「鹿川くんいじめ事件」について話が及ぶと、生徒たちもひととき真剣に聞き入っているように感じました。

生徒の感想を一部抜粋して紹介します。

●「心のコップ」ということは、僕は知っていた。たしか、親に言われたんだと思う。僕も小学校の時にいじめられていたときに言われたんだと思う。

●心の中にあるコップは人によって入る量が違う

ので、そのコップの量を決めつけて相手に押し付けるとケンカがおきてしまうと思った。

●鹿川君は本当にかわいそうだなと思いました。鹿川君に友達が一人もいなかったわけではないんだから、その友達がいじめをとめてあげればよかったんじゃないかなと思いました。葬式ごっこは本当にひどいことだと思った。いじめがなくなればいいなと思いました。

●(鹿川くんの事件は)なぜ、学校の先生が気づかなかったのかなと思った。鹿川くんはいじめの標的になるようなことを何もしていないのに、みんなが(いじめを)やっているからといってみんなでいじめるのはありえないと思った。学校の先生も先生で、もっと周りを見るべきだと思う。…以下略

●コップがあふれたら全部出してカラにすればいいと思いました。そうできるように話せる人を見つけたり、寄ってきてくれるように自分から仲良くしたいと思いました。いじめられている人にとって、話しやすかったり、近づきやすいように誰とでも仲良くしたいと思います。いじめている人がいたら、だめだと言ってその人の話も聞いてあげたいと思いました。クラスで楽しくすごせていない人がいたら、全力で助けてあげたいと思いました。

↑最後の感想がとても、素晴らしいです(特に下線部分)。こういう人がクラスに1人いたら、そのクラスは、きっといじめなんかなくて明るく居心地のいいクラスになるだろうし、その人につられてどんどん「正義の味方」も増えていくでしょう。当然、その上の感想にあるように先生の責任は重大！生徒任せにせず、先生は体を張っていじめを止めに行きます。



ツイッター、危険をしっかりと理解して、危険を回避しましょう！

12月1日の新聞にのって、なるほど！と思ったことです。少し前、座間市で凄惨な事件もおきてますし…

「SNSに自分の個人情報を書くのは、交差点で(自分のことを)大書きした紙を掲げるのと同じ」

★保護者の皆様へ

第3回進路希望調査で私立高校の推薦や専願を希望した生徒につきましては、2学期の成績が確定した時点(8～11日)で出願が可能かどうかの連絡をします。出願できる場合は問題ありませんが、もし高校の出願基準に達していない場合、そのことを三者懇談会の席で初めて告げられると、その後の対応をその場ですぐに(気持ちを切り替えて)決めるのが難しい、と配慮してのことです。

